

北海道に貢献する意欲のある若者の 海外への挑戦 を応援します！

ほっかいどう未来チャレンジ基金による助成事業のご案内

趣旨

ほっかいどう未来チャレンジ基金は、道内外の企業や篤志家の皆様からの寄附金もいただきながら、北海道に貢献する意欲のある若者の海外での挑戦を官民挙げて応援するため、平成28年12月に創設した基金です。
世界を視野に入れながら、ふるさと北海道に思いを馳せ、将来の北海道に貢献する若者たちを応援しています。



主な支援要件

※以下、平成30年度の内容です

- 平成30年4月1日現在、満18歳以上39歳以下の方（学生留学コースは満18歳以上30歳以下の方）
- 北海道に在住し、北海道の発展や社会のために貢献したい志がある方
- グローバルリーダーを志し世界の人々との交流を通じた経験から学ぼうとする意欲がある方
- 帰国後3年間は本道に居住し、道が主催する交流会・行事等に参加できる方（学生留学コースを除く） など

支援コース

学生留学コース

大学生等の農林水産業、食関連・ものづくり、観光、環境・エネルギーの分野での海外留学を支援します。
支援対象：3～12か月の海外留学
支援人数：4～6名程度

スポーツコース

世界に通用するアスリートを育成・輩出する指導者をを目指す若者の海外研修を支援します。
留学期間：3～12か月の海外研修
支援人数：若干名
※障害のある方の留学期間は1～12か月

文化芸術コース

国際的に活躍するアーティストを目指す若者の海外研修等を支援します。
支援対象：3～12か月の海外研修等
支援人数：若干名

未来の匠コース

料理人、木工家具職人など世界レベルの「職人」を目指す若者の海外研修等を支援します。
支援対象：3～12か月の海外研修等
支援人数：若干名

主な支援内容

- ◎滞在費（定額） 120,000円/月 または 160,000円/月（派遣先地域により変動）
 - ◎往復渡航費（定額） 100,000円 または 200,000円（派遣先地域により変動）
 - ◎授業料、研修費、入学金、授業料等 上限300,000円
 - ◎国際的大会等参加経費（参加費、宿泊費、交通運賃、機材運搬費等（上限あり））
- ※内容、上限額はコースにより異なりますので、詳しくは募集要項等をご覧ください。

◎パートナーズリーダーとは

応援パートナーの代表格として、海外挑戦を目指す若者の選考や壮行会、報告会等における激励・助言などを行い、若者たちの学びや成長を支え、若者たちを応援していただく方々に、応援パートナーズリーダーとしてご就任いただいています。

◎学生留学コース審査委員



日本という国、北海道という地域を外からしっかりと見つめ直す機会にしてほしい。北海道民であることを常に自覚し、北海道の可能性を発現し、課題を解決する道筋を探るという前向きな問題意識を忘れずに挑戦してください。

一般社団法人地域研究工房 代表理事 小磯 修二



今まで生まれ育った「日本」を離れ、異文化を体験し、世界の人と交流し、また世界の中の日本を見ることが出来る貴重な機会です。夢の実現に向けて頑張ってきて下さい。そして、そこに至るまでのストーリーを語る事で、子供達に夢や希望を与えてもらいたいと思います。

株式会社INDETAIL 代表取締役 坪井 大輔



若い人が一つの目的を持ってチャレンジすると、短期間であっても大きく成長します。一期生は明らかに大きなものを掴んで帰ってきました。海外から、大きな学びと広い知見を持ち帰り、これからの北海道、日本の為に大いにチャレンジして下さい。

株式会社セコマ 代表取締役社長 丸谷 智保

◎スポーツ・文化芸術・未来の匠コース審査委員



私たち挑戦者には未来を切り拓いていく責任があります。他国を知り、日本や自分を見つめ、知見を組み合わせることで、今までにない新しい概念や商品を生み出し地域のリーダーになってください。共に元気な北海道を創っていきましょう。

株式会社いただきますカンパニー代表取締役 井田 美美子



海外でさまざまな体験をしたいと思います。目的以外のことにしてもアンテナを張って、いろいろなことを学んでください。また帰国後には、学んだことを自分の周りの方々にも教えてあげるよう努めてください。

クリフ・フューチャー・メディア株式会社代表取締役 伊藤 博之



皆さんスキルアップして、持ち帰った学びの成果を北海道や地元で根付かせてもらいたい。そうすることで、新たな世界が生まれてくるので、最初の志を忘れずに、自分のエネルギーを振り絞って頑張ってください。

株式会社アミノアップ化学代表取締役会長 小砂 憲一



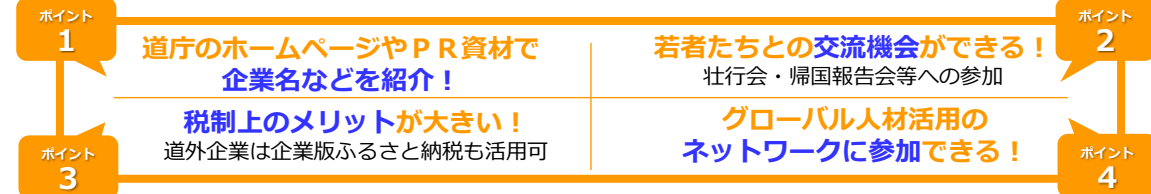
皆さんのチャレンジ精神の心意気を力強く感じています。訪日客が帰国後に、北海道の良さを思い出す北海道オリジナル商品の開発を待っています。色々見聞し、開発に向けてのヒントを持ち帰って欲しい。帰国後の意見交換を楽しみにしています。

株式会社すし善 代表取締役 嶋宮 勤

ご寄附・ご協力をお願い

ご寄附・ご協力いただいた皆様が、応援パートナーです。

若者たちが、世界へ、未来へ挑戦するためには、多くの皆様の支えが必要です。また、多くの方に支えられているという実感が、若者たちのさらなる成長につながります。



ご寄附について

- ・企業は1口10万円以上、個人は1口5千円以上を目安にお願いしています。
 - ・寄附申出書を担当に送付（郵送、FAX、電子メール）いただければ、納付書等を発行させていただきます。
- ※指定金融機関、コンビニエンスストアや道外ゆうちょ銀行、インターネットによるクレジットカードでの納付が可能です

ご協力について

- ・下記のような取組でのご協力も随時受け付けています。
- [古本募金「ハピぼん」]
ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附されます。
- [製品の売上げの一部等の寄附]
一定期間の特定製品の売上げの一定割合を基金に寄附していただく仕組みです。

応援パートナーの皆さま（平成30年11月現在）敬称略



有末 真哉 船津 秀樹 石川 諭史 遠藤 光二 佐藤 友昭（税理士法人 FULL SUPPORT 代表社員税理士） 武田 孝（拓殖工業(株)代表取締役会長） その他匿名希望の個人・企業4者

学生留学コース



北海学園大学 学部2年
伊藤 昂
Ito Subaru

- テ ー マ 国際大会運営などについて学び、北海道のテニス界の国際化に貢献
- 留 学 先 アメリカ、オーストラリア、オランダ（受入機関：IMGアカデミー他）
- 留学期間 2018年9月～ 10か月間
- 留学目的 世界トップクラスのテニスアカデミーなどで世界基準のコーチング技術や国際大会運営マネジメント方法を学び、上級テニスコーチとなって、北海道テニス界から世界に飛び立つ選手育成を目指す。将来は、観光への波及効果の高いテニスの世界大会を北海道に誘致したい。
- 意気込み 米豪蘭3カ国でテニスコーチとしての技術やスポーツマネジメントを学び、国際スポーツビジネスのノウハウを身につけ、北海道テニス界の国際化に役立つ人間になりたい。
- 【実績等】
 - ・北海道学生テニス最優秀新人賞（2017年）、宮の森スポーツテニス倶楽部コーチ など
 - ・メーカー（アメリカ：プリンス、ベルギー：スノフォート）からテニス用具の無償提供



北海道大学 学部3年
立岩 文武
Tatewa Jobu

- テ ー マ 農業大国における研究を通じ、北海道での大規模農業の持続を目指す
- 留 学 先 オーストラリア（受入機関：タスマニア大学または西オーストラリア大学、現地農家）
- 留学期間 2018年9月～ 10か月間
- 留学目的 農業大国オーストラリアの大学や現地農家で、北海道で大規模農業を持続させるために役立つポイントを学ぶとともに、海外のバイオマス資源についての学びを深める。
- 意気込み 農業大国オーストラリアで、農業のスケールの大きさを肌で感じ、北海道で活用できる生産方法があれば還元していきたい。北海道との季節、農閑期の違いと、衛星による農業機械の自動運転技術に着目した農業課題解決についても考察したい。
- 【活動歴】
 - ・札幌のIT企業で実用的なプログラム開発を半年ほど勉強
 - ・現地でのデータ解析をするためのドローンの制作



北海道大学 修士2年
林 泰佑
Hayashi Taisuke

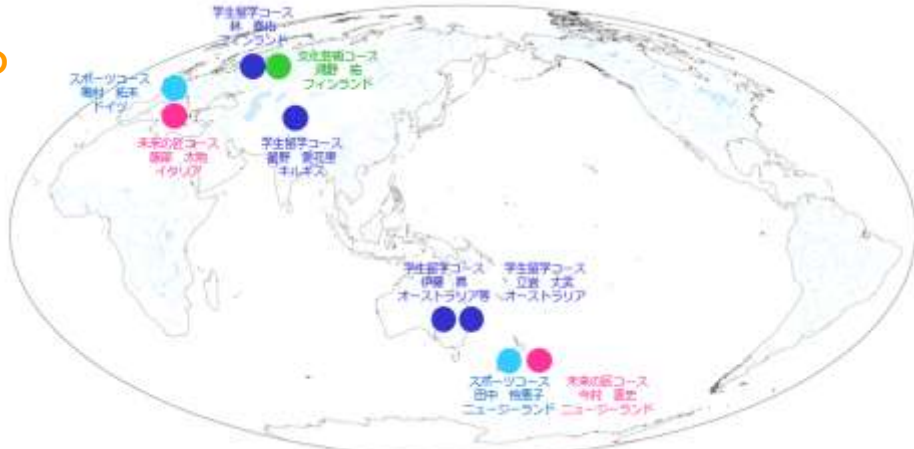
- テ ー マ 「森と湖の国」フィンランドにおける先進的な木造建築技術を学ぶ
- 留 学 先 フィンランド（受入機関：アアルト大学、現地建築設計事務所）
- 留学期間 2018年9月～ 12か月間
- 留学目的 アアルト大学ウッドプログラムへの参加や、現地建築設計事務所でのインターン等を通じ、先進的な木造建築技術を学ぶとともに、木に対する理解を深め、日本における新しい木造建築を目指す。
- 意気込み 北海道と似た気候・産業を持つ北欧で、地域資源の循環の中に位置づけられる木材を活用した建築のあり方を学びたい。また、将来は北海道で起業し、地域密着の建築家として、地域の人との関わりを大切に、海外との架け橋となるような人材として活動したい。
- 【活動歴】
 - 「森とイエ」プロジェクトを行っているSA design officeの小倉寛征氏のもとでインターンシップに従事



北海道大学 修士2年
星野 愛花里
Hoshino Akari

- テ ー マ 農産物等の輸出入の可能性を探り、北海道の農業に貢献
- 留 学 先 キルギス（受入機関：キルギス協同組合連盟、農業省、種子生産組合 など）
- 留学期間 2019年1月～ 12か月間
- 留学目的 キルギスにおける地域農産物の生産・流通についての調査実施と北海道との農産物の輸出入可能性を探る。また、農民組織の事業体制を学び、北海道の農業に活かせる点を見出す。
- 意気込み 今回の留学で得た人脈や広い知見等を活かし、北海道の農業が今後も気持ちよく伸びていけるようなヒント・アイデアを得られるような留学にしたい。
- 【活動歴】
 - ・大学のアイデアコンテストで資金確保し、大学生の食育のための畑サークルを立ち上げ
 - ・ミャンマーでの海外ボランティアを経験

2018年度 助成対象者の 留学先



スポーツコース



SPORTS LIFE DESIGN
IWAMIZAWA
梅村 拓末
Umemura Takumi

- テ ー マ 北海道の子ども達の運動能力向上に向け、「バルシューレ」を学ぶ
- 留 学 先 ドイツ（ハイデルベルク大学など） ○留学期間 2018年7月～ 11か月間
- 留学目的 子どもの発達段階を考慮し、楽しみながら運動能力を伸ばすボール運動指導プログラム「バルシューレ」について、プログラムを創設したハイデルベルク大学や地域のクラブなどで実践的に学ぶ。
- 意気込み バルシューレの理念を通じて、北海道の子どもたちを取り巻く体力・運動不足など、運動・スポーツ環境に関する課題解決に寄与していきたい。そのために、今回の留学経験を大きな力にしていきたいと考えています。
- 【指導歴】
 - ・総合型地域スポーツクラブSPORTS LIFE DESIGN IWAMIZAWA 指導員（2017年～）
 - ・札幌平岸高校サッカー部 ゴールキーパーコーチ（外部指導者） など



北海道バーバリアンズ
ディアナ
田中 怜恵子
Tanaka Reeko

- テ ー マ 楽しむラグビーの指導方法を学び、北海道の女子ラグビー発展に貢献
- 留 学 先 ニュージーランド（バーンサイド高校） ○留学期間 2019年1月～ 8か月間
- 留学目的 ラグビーの本場ニュージーランドで指導者と選手双方の立場からラグビープログラムに参加し、選手に指導の意図を理解させ、楽しく学んで貰えるようトレーニング内容のプログラミングや選手のモチベーションコントロールに着目しながら、ラグビー指導の技術を学ぶ。
- 意気込み 今回の留学経験を活かし、日本人としての規律も大事にしながら、ニュージーランドスタイルの楽しむラグビーを、北海道の女子ラグビーに浸透させていきたいと思っています。その結果、北海道で女子ラグビー選手としてプレーを楽しむ女の子たちを増やして行きたいです。
- 【活動歴】
 - ・北海道バーバリアンズディアナ 副将（2017年～）
 - ・クロスフィットレベル1 トレーナー（2018年～）

文化芸術コース



フリーランス
家具デザイナー
鴻野 祐
Kono Yu

- テ ー マ 北海道の木材を活かした家具デザイナーとして、まちづくりに貢献
- 留 学 先 フィンランド（アアルト大学） ○留学期間 2018年7月～ 12か月間
- 留学目的 国産材の価値の低さや、森林の荒廃進行等の森林問題を解決するため、アアルト大学のウッドプログラムを受講し、日本の大学のデザイン教育だけでは学べない生態系や林業の中での「木」に関する学びを深める。
- 意気込み 今回の留学で、木の生育環境から利用までの総合的な知見を身につけたいと考えています。北海道で、ものづくりやデザインを通して、地域の人とともにまちづくり、人づくりに関わり、森林環境からデザインまでをトータルで考えていけるデザイナーを目指します。
- 【活動歴】
 - ・武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業
 - ・2015～ 家具づくりワークショップ主催、講師（北海道浦幌町、徳島県）
 - ・2016 スウェーデン人舞踏家Frauke舞台デザイン・製作

未来の匠コース



(有)鶴沼ワイナリー
今村 直史
Imamura Naohumi

- テ ー マ 北海道ワインの将来を見据え、醸造用ぶどう栽培の本場を体験
- 留 学 先 ニュージーランド（現地ワイナリー） ○留学期間 2018年11月～ 5か月間
- 留学目的 温暖化により北海道でも栽培が可能となりつつあるソービニオン・ブランなどのワイン用ブドウ品種の栽培技術を習得するとともに、ワインツーリズム先進地で、その運営等について学ぶ。
- 意気込み 海外の先進的なブドウ栽培現場に学び、習得した情報や技術を道内のワイナリー等と共有しながら、若い世代の育成を図り、北海道が一大ワイン産地として認知されるための土台づくりに貢献したい。
- 【活動歴】
 - ・アメリカ カリフォルニア州サンタローザ市で酪農・ブドウ栽培研修（1997年～1年間）
 - ・(有)鶴沼ワイナリー 第二栽培課長
 - ・道産ワインブランドカ事業「ワイン塾」受講



(株)丘の上の
わくわくカンパニー
服部 大地
Hattori Daichi

- テ ー マ スローフード発祥の地で学び、北海道ブランドメニューの開発を
- 留 学 先 イタリア（フィレンツェ料理学園） ○留学期間 2018年9月～ 6か月間
- 留学目的 スローフードやアグリツーリズム発祥の地であり、地域性が食と密接に関わるイタリアで、ハーブ、乳製品、ジビエ食材等の地域資源を活かした伝統の調理法を学ぶ。
- 意気込み 地産地消の取組が進んだイタリアで修業を積み、帰国後は、北海道ならではの食の魅力を深めていくとともに、北海道を訪問する海外の方との交流を深めることで、北海道の魅力をアピールしていきたいと思っています。
- 【活動歴】
 - ・イタリア料理レストラン「キャンティ西麻布店」勤務（2011年4月～2017年6月）
 - ・鶴居村 ファームレストラン「ハートンツリー」勤務（2017年7月～）